

れきはく NEWS

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 企画展
「神々が集う—神在月と島根の神像彫刻—」
- 4 展覧会通信
- 5 れきはく通信
- 6 学芸員通信
- 7 古代文化センター通信
- 8 常設展ミニ企画「うつわで探る出雲そばの歴史」
れきはく秋まつり

vol.44
2018.SEP

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

【企画展】

神々が集う

神在月と島根の神像彫刻

平成30年10月26日(金)→11月26日(月)



会期 平成30年10月26日(金)～11月26日(月)〈会期中無休〉

◎開館時間／9:00～18:00(10月31日まで)、9:00～17:00(11月1日から)

会場 島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

旧暦10月、通常では神無月^{かんなづき}と呼ばれるこの月を、出雲では神在月^{かみありづき}と呼びます。このとき全国の神々が出雲に集うとされ、出雲大社をはじめとする様々な神社で神々を迎える神在祭が行われます。

本展ではこの時期に合わせ、神在月の関係資料、ならびに、神々の姿を表した数々の神像彫刻を紹介します。



神在月とはどのようなものか？ 多彩な資料でご紹介

神在月には神々が出雲に集まって縁結びの会議をする、というのが、現代の一般的な理解かもしれませんが、それにあやかろうと、秋にはたくさんの観光客の方々が出雲を訪れます。しかし長い歴史の中で、神々が出雲に集う理由については、縁結び以外にも神々の性格や10月という時期にちなんだ色々な説がありました。またその神徳が出雲だけでなく日本全国へ広まったのには様々な人々の活躍がありました。本展の第1部では、かつての人々が神在月とはどのようなものと考えていたのか、文献・民俗・絵画資料などを通してご紹介します。



大社龍蛇神 [当館蔵]



出雲の大社八百万神どうけあそび [当館蔵]

【企画展】 神々が集う

— 神在月と島根の神像彫刻 —



島根の神像彫刻が大集合

神像彫刻とは、神々の姿を表現した彫刻のことです。中国や日本の貴族の姿を参考にした例や、仏教の信仰と混ざったために僧侶の姿をした例など、その表現はさまざまです。仏像ほどしっかりとした決まりがないので個性的な姿をした像が多く、それが神像彫刻の大きな魅力の1つであり、またそのために謎もたくさんあります。複数の神々が集ったように群像の形で伝わる例が多いのも特徴の1つです。

本展の第2部では、島根に伝わる神像彫刻およそ200軀を展示し、それを通して神像彫刻の魅力や謎をご紹介します。



神像群 [松江市・成相寺]



男神坐像 [出雲市・鱒淵寺]



僧形神坐像 [益田市・櫛代賀姫神社]



女神坐像 [個人蔵]

牛頭天王坐像
[出雲市・鱒淵寺]



こちらもおすすめ!

企画展関連催事

関連講座

ふしぎな神像
—神像彫刻の魅力と謎—

定員
100名
入場無料

- 日時 / 平成30年10月28日(日)
13:30~15:00
- 会場 / 古代出雲歴史博物館
講義室
- 講師 / 濱田恒志
古代出雲歴史博物館 主任学芸員

関連講座に参加をご希望の方は、
下記の方法でお申し込みください。

- お申し込み方法
電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかで事前にお申し込みください。
- お申し込み先
古代出雲歴史博物館
TEL.0853-53-8600
FAX.0853-53-5350
<https://www.izm.ed.jp>

ギャラリートーク

- 日時 / 11月4日(日)・11月17日(土)
各回13:30~14:30
- 会場 / 古代出雲歴史博物館
特別展示室
- 講師 / 古代出雲歴史博物館学芸員

参加には年間パスポートまたは
企画展観覧券が必要です。

企 画 展

隠岐の祭礼と 芸能

◎開催期間

平成30年12月21日(金)～平成31年2月18日(月)

■会期中の休館日／平成31年1月15日(火)

◎開催時間

9:00～17:00 ※最終入館は閉館時間の30分前

◎会場

島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

◎主催

島根県立古代出雲歴史博物館・島根県古代文化センター

日本海に浮かぶ隠岐諸島は、古代より「隠岐国」と呼ばれた一つの国であり、国分寺や一宮（現水若酢神社）、惣社（現玉若酢命神社）などで行われてきた大規模かつ荘厳な祭礼が今に伝えられています。中でも国の重要無形民俗文化財に指定されている「隠岐国分寺蓮華会舞」や「隠岐の田楽と庭の舞」（美田八幡宮・日吉神社）などは、古代や中世の芸能を考える上での多くの手がかりを今に伝えてくれています。また、後鳥羽上皇をはじめとする流帝・流人に関わる祭礼も隠岐ならではの特色と言えるで



▲鉄腹巻

（島根県指定文化財／隠岐の島町・西村神社蔵）
「武良祭風流」では行司役が甲冑を身にまとう。
以前実際に使われていた甲冑は戦国時代の伝世品。

しょう。後鳥羽上皇の追悼を意識して行われてきた「牛突き」、元大坂町奉行所与力の流人が伝えた「だんじり舞」（御碕神社）など、隠岐の祭礼と芸能の魅力をあますことなくご紹介します。



隠岐国分寺蓮華会舞

（国重要無形民俗文化財／隠岐の島町・隠岐国分寺）
戦国期の争乱や廃仏毀釈、火災など、数々の苦難を乗り越えて今に伝えられる荘厳な舞。



御碕神社祭礼宇屋だんじり舞風流

（隠岐の島町無形民俗文化財／隠岐の島町・御碕神社）
元大坂町奉行所与力の流人が、享和3年（1803）の御碕神社遷宮に際して始めた大坂由来の太鼓台式だんじり。

歴博入門講座

いまさら聞けない島根の歴史

連続4回
シリーズ

博物館に来てみた。でも展示品をどう見たらいいのかわからない。本当は興味あるけど…、書店のハウ・ツー本を読んでもピンとこない。仏像や青銅器、古代の玉や石器など、どこをポイントとして見たら基本的なことがわかるのか、「むずかしい話は苦手だな」「いまさら初歩的なことを聞くのも恥ずかしい」と思っている方を対象にした入門講座です。学芸員が簡潔かつわかりやすく、様々な資料の見方を解説します。4回連続受講された方には修了証と記念品を贈呈します。



- 場 所／古代出雲歴史博物館 講義室
- 定 員／各回80名
- 料 金／無料
- 申込方法／電話、FAX、ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申込みください。
- そ の 他／1回目冒頭・4回目終了後に、開講式、修了式を行います。



開催スケジュール

第1回

11.11^日

●10:00／開講式

●10:10～11:40

仏像の見かた

古代出雲歴史博物館 参与 的野 克之

展覧会のなかでも、とりわけ仏像の展示は人気があります。しかし一口に仏様とはいっても、「如来」「菩薩」「明王」など、なぜ名前も違えば姿も衣裳も違うのでしょうか？ どう見ていいかわからないと、解説を読んで「ああ古いなー」「いい作品なんだろうなー」と心の中つぶやき、ため息が出るばかり。ところが仏像の基本的な知識を学んで見るポイントがわかると、これまでの2倍も3倍も楽しめるようになります。

なお近年は、中学校や高校の歴史の教科書を大人向けに編集し直した本を書店でよく見るようになりました。よくまとまっていますし、2、30年以上前に学校で習った内容とはずいぶん変化しています。歴史に興味をもたれた方は、まずこうした本を読まれることをおすすめします。

第2回

12.16^日

●10:00～11:30

古代の玉の見かた

専門研究員 岩橋 孝典

第3回

1.20^日

●10:00～11:30

青銅器の見かた

専門研究員 増田 浩太

第4回

2.17^日

●10:00～11:30

石器の見かた

主任学芸員 稲田 陽介

●11:50／閉講式

※「歴博入門講座」をはじめて受講される方を対象とします。申込者が定員を超えた場合、受講をおことわりすることがあります。あらかじめご了承ください。

※各講座のタイトルは、予告なく変更する場合があります。

中学生職場体験

博物館の仕事

毎年、博物館では出雲市内の中学校からの職場体験を受け入れています。職場体験では博物館の表から裏まで、様々な仕事を体験してもらっています。そのなかから、いくつかご紹介しましょう。

ひとつは、学芸員の仕事です。体験では、屏風の下地に張られていた「下張り」と呼ばれる部分の古文書を1枚ずつはがしていく、資料の収集・保存に関する仕事を体験してもらいました。少しコツのいる作業ですが、きれいにはがした時の爽快感はクセになります。こうした地道な作業の積み重ねから、歴史的新発見がなされるかもしれません。

もうひとつは、アテンダントの仕事です。アテンダントの制服を着て、お客様をご案内する事は、中学生のみなさんにとって、とても緊張する仕事だと思います。緊張しながらも、しっかりとお客様をご案内してくれました。



このほか、カフェでの接客や館内清掃の仕事なども含め、普段はあまり見ることのない博物館の現場での職場体験が、中学生のみなさんにとって、よい経験になったのであれば、大変うれしく思います。



博 博物館の裏側、教えちゃいます!

巻き物は どうやって守るの?

日頃から運動をしていないと、老いては腰が曲がるように、掛け軸や巻き物も、何年も巻いた状態のままにしておくと巻き癖がつき、開いた時に折れシワが生じます。特に軸(巻き芯)が細いほど、軸に近いところの紙ほど折れが生じやすくなり、やがてそこから表面が裂けてしまいます。折れシワを生じにくくするためには、軸をできるだけ太くする方法があります。近年は、軸に取り外しできる「太巻」を取り付けたりします。京都の優れた経師屋(びょうぶやふすまを仕立てるお店)さんのなかには、太巻のかわりに、巻物の軸に和紙を厚く貼りつけて、一見まだ開く余地があるように装丁を工夫してくれた店がありました。見えないところに配慮して、作品を傷めることなく後世に伝えるのも博物館の役割です。



折れシワのできた資料



太巻

軸に太く和紙を貼り付けてある巻き物



◎島根県古代文化センターの調査研究について

■出雲神楽の研究(研究期間:平成30~32年度)

古代出雲歴史博物館の今後の企画展につながる研究テーマを、毎年2~3本ずつ開始しています。今回は、今年度着手したうちの一つである「出雲神楽の研究」について紹介します。

平成23年(2011)にユネスコの無形文化遺産に登録された国指定重要無形民俗文化財の佐陀神能(松江市)や、同じく国指定の大土地神楽(出雲市)、県指定無形民俗文化財の見々久神楽(出雲市)、槻の屋神楽(雲南市)、海潮山王寺神楽(雲南市)、大原神職神楽(雲南市北部)、奥飯石神職神楽(飯南町、雲南市の一部)など、出雲地方各地には地域色豊かな神楽が数多く分布しています。

現在も80近い神楽団体が活動しており、早くから民俗学や芸能史、歴史学などの諸分野からの研究も盛んに行われてきました。また、面や衣装等を神楽団体に貸し出した貸面・貸衣装屋の実態も近年わかりつつあります。

こうした長年にわたる調査研究の成果を踏まえて、新たに中近世の古文書調査やフィールドワークなどを行い、神職組織や神楽団体など神楽の担い手の実態、出雲神楽の伝承を側面から支えた人びとの活動、他の芸能や近隣地域の諸神楽との影響関係などの解明を通して、「出雲神楽」とは何かを改めて捉え直すことが、このテーマ研究の目的です。

■主担当者: 研究員 石山 祥子



佐陀神能(式三番)



大土地神楽(莫塵舞)



奥飯石神職神楽(八頭)



槻の屋神楽(日御碕)

常設展
ミニ企画

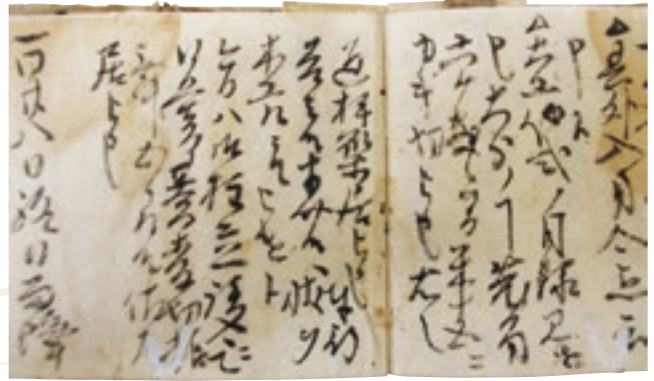
うつわで探る 出雲そばの歴史

◎開催期間／10月17日(水)～12月17日(月)

かつて我が国では長い間、“そば”を練ったり団子にして食べていました。現在のように、平たく伸ばして細く切ったものを蒸したりゆでたものを、古くは「蕎麦切」といい、室町時代の末頃、または戦国時代の末頃に、京都、または信州で作られるようになったといわれています。

出雲にそば切りが伝わったのは江戸時代初期。栽培に適した山間部の気候風土にも恵まれ、石臼で実を皮ごと製粉して手打ちにした香り高い“出雲そば”は、今やこの地域のソウル・フードとして多くの人々に愛されています。

当初出雲そばは、皿や枱形の容器に盛り付けられていましたが、工夫改良の末に、今のような丸い、何段でも重ね



「蕎麦切」の記述がある、佐草自清「江戸参府之節日記」(1666年)

がきく容器になったのは約百年前、明治時代末のことでした。

今回は、さまざまな形をした昔の器や昔の記録をとおして出雲そばの歴史を紹介し

常設展の料金でご覧いただけます

秋の一日をれきはくで満喫!

10.7
日

〈れきはく秋の体験学〉

れきはく秋まつり



時間 10:00～15:00 場所 古代出雲歴史博物館 風土記の庭 ※内容は変更になる場合があります。一部有料。

〈出雲農林高校・古代出雲歴史博物館 連携事業〉

*出雲農林高校がやってくる!

行列のできる農産加工品販売「出農ショップ」や、ヤギやモルモットとのふれあい「移動動物園」がオープン!

〈「ハニワ」ストラップづくり〉

午前・午後とも《限定各25個》

*粘土でオリジナルのストラップをつくらう!

参加費 400円

〈藍染体験〉

*藍染でオリジナルハンカチをつくらう!

参加費 400円

随時受付《限定100枚》

〈加茂岩倉遺跡 銅鐸発見記念日イベント〉

*蠟で銅鐸の鑄造再現実験 11:00～、14:00～

*キッズわくわく体験コーナー

- 飛び出すカードづくり
- 変身グッズであそぼう(フォトプロップス)

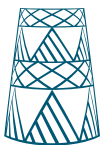
*れきはくスタンプラリー

*れきはくマルシェ Maru Café

軽食をご用意しています!

*神戸川太鼓 演奏 10:00～、13:00～

発行／平成30年9月



どこ行く? れきはく!

島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
開館時間／9:00～18:00(11月～2月は9:00～17:00)
休館日／第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター
雲太くん



マスコットキャラクター
出雲ちゃん